

2025/09/4 1970 年大阪万博博覧会【太陽の塔】【EXPO' 70 パビリオン】見学



夏休み明けの 9 月 4 日 Expo70 の見学、ただ 9 月に入っても猛烈に暑い。しかも台風接近ということで非常に蒸し暑い。

まずは入場したら正面にどんと居座る太陽の塔をバックに記念撮影。

「えっ、一番高い所にある『黄金の顔』、胴の真ん中にある『太陽の顔』、背中にある『黒い太陽』の三つじゃないの？」という声が聞こえてきそう。

でも実は、長年謎に包まれてきた「地底の太陽」は数奇な運命をたどりレプリカだが復活しました。太陽の塔の 1 階部にされています。太陽の塔は 1 階だけ撮影が許されています。生命の成り立ちから人類誕生までが表現されています。今流の映像でなくリアルな展示は年寄りには分かり易い。その後 10 分ほど歩いて EXPO' 70 パビリオンへ。

ここは確か鉄鋼館だったのが 2010 年に大阪万博記念館として公開し、さらに 2023 年 8 月 11 日には別館を増設し EXPO' 70 の世界を感じるようになっていました。この展示を見ていると 50 年タイムスリップした感じがします。

別館には未来を表

す「黄金の顔」これは万博当時設置されていた「黄金の顔」を再度作り替えたもので目の前で 10.2m とは非常に大きく感じられますがこれが太陽の塔にのっているとは。感無量です。1992 年に太陽の塔

改修工事にて取り外され元通り修復されたがここに展示しているということです。皆さんも目の前で見る「黄金の顔」の大きさとその輝きにうっとり。

この当時主展数 116 館参加数 海外 76 か国、4 国際機構、国内参加企業 28 企業、今と違い関西企業の元気なこと。

面積 330Ha 入場者数 64,218,770 人。

1 日最大 83 万 5832 人、前売り券の初日販売数 62 万枚、アジアで初めての万博。期待の大きさがわかるし、日本中からどんどん押し寄せて、盛り上がりがすごかったと今考えてもすごい。

特筆すべきは迷子 4 万 8139 人 尋ね人 12 万 5778 人。

まだコンピュータが普及していない時代に子供、大人の迷子をさばいたことは素晴らしい。

